

公開シンポジウム 「IT を活用した北海道農業の新たな展開」

主催：農業機械学会北海道支部、協賛：十勝農業機械化懇話会

近未来の北海道は現在よりも人口が減少し、気候変動の影響により、作物の生産環境の変化が予測されます。今後の農業生産技術の展開はこれらの変化に的確に応える最適解を目指す必要があります。変化は生産環境のみにとどまらず、農産物輸入、農政の変革、人口減少の偏りによる過疎とこれに起因する集落や地域の崩壊、地球環境に対応した温暖化ガス排出削減など、今までと異なる新たな課題も伴います。これらに対応する有効な手段として期待されるIT化と精密農業技術による北海道農業の発展方向についてヒントを得る目的でシンポジウムを開催します。

多数の方々の参加をお願い申し上げます。

- 日時 平成 24 年 8 月 30 日 14:00～17:30 (開場 13:40)
- 参集範囲 オープン、会員及び生産者、行政・普及関係者、研究関係者、関係団体・企業、その他農作業 IT 化に関心のある方
- 場所 帯広畜産大学 講義棟 大講義室
〒080-8555 帯広市稲田町西 2 線 11 番地・電話：0155-49-5216
- 参加費：研究発表会参加費と共通 一般会員：2,000 円、学生会員：1,000 円
一般参加(シンポジウムのみ) 1,500 円

演題

- (1) 主催者挨拶(講演趣旨)
農業機械学会北海道支部 支部長 原 令幸 (14:00～14:15)
- (2) 講演 (コメント時間を含む) (14:15～16:20)
進行：庶務幹事 竹中秀行
- 1) 基調講演 IT, 精密農業による北海道農業の発展構想
農研機構 北農研センター 畑作研究領域長 平藤雅之 氏 (14:15～15:05)
コメンター 北大大学院農学研究院 教授 野口 伸 氏
- 2) 農業の IT 化技術の普及促進事業について
北海道 農政部 食の安全推進局技術 普及課主査 山本雅彦 氏 (15:05～15:30)
コメンター 道総研 中央農試 岡田直樹 氏
- 3) Crop SPEC による小麦可変追肥システムと今後の展開
道総研 十勝農業試験場 生産システムグループ 研究主任 原 圭祐 氏 (15:30～15:55)
コメンター 農研機構北農研センター 若林勝史 氏
- 4) 実践から見る IT 導入の効果
農業生産法人 株式会社はまほろ 代表取締役社長 檜林克之 氏 (15:55～16:20)
コメンター 道総研 十勝農試 白井康裕 氏

○シンポジウム終了後、関連展示を行います。 学内圃場,雨天隣接農機具庫 (16:30～17:30)
展示：ハイブリッドGNSS航法装置 (ジオサーフ, 東京計器), 精密農業ソリューション, クロップスペック (トプコン, 岩崎), 可変施肥ブロードキャスト (IHIスター), 精密農業関連事業 (ズコーシャ)

○展示終了後、交流会を行います。

バーベキューを囲みながら、機械化農業の展望に思いを馳せ、大いに楽しみましょう。

申込先

農業機械学会北海道支部事務局 Tel&Fax:011-706-3626, jsam-hk@bpe.agr.hokudai.ac.jp
支部ホームページもご覧ください。 <http://www.bpe.agr.hokudai.ac.jp/shibu/>

農業機械学会北海道支部第63回年次大会

参加申込書

送付先；〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地
 帯広畜産大学 地域環境学研究部門 地域環境工学分野
 岸本 正

Tel & Fax : 0155-49-5522

Email : tksmt@obihiro.ac.jp

申込方法；本紙に必要事項を記入の上、郵送あるいはFAXで送付下さい。
 またTelあるいはE-mailでも結構です。参加費は当日受付で申し受けます。

参加申込締切り；2012年8月9日(木)

氏名	所属 勤務先	参加項目に○を記入してください		
		8月30日(木)	8月30日 (木)	8月31日 (金)
		研究発表会	懇親会	研究発表会

参加費：研究発表会・シンポジウム 一般：2,000円，学生：1,000円
 懇親会 5,000円